



【戦評シート】

平成 17年 5月 4日(水)	協会名： 能代市 バスケットボール協会
場 所：能代市総合体育館	記入者： 荒川 徹
チームA 安城学園 90	チームB 新潟商業 89

25 - 18
21 - 20
19 - 19
17 - 25
8 - 7

スターター	チームA： 4, 5, 6, 11, 17	チームB： 4, 5, 10, 11, 12
ディフェンス (試合開始時)	チームA： マンツーマン ゾーン(2-1-2) その他()	チームB： マンツーマン ゾーン(2-1-2) その他()

第1Q高さに勝る安城学園が、試合開始からリバウンドを支配し、内外から攻撃を仕掛け、八木のポストプレーや宇佐美のドライブインなどで得点する。一方、新潟商業は安城学園の高さに苦しみ、思うように中に入り込めず、小林純、田中の3Pで応戦する。

第2Q新潟商業は、Defをオールコートマンツーマンにし、機動力が活きてくる。走り込んでのドライブから小林和がゴール下をねじ込む。これが安城学園のファウルをさそい、フリースローを決めて逆転に成功。スコアを34 - 33とする。しかし、安城学園が近藤の2本連続、宇佐美の3Pなどで再びリードする。前半を46 - 38安城学園8点のリードで折り返す。

第3Q、後半開始から両チームとも一進一退の攻防を繰り返す。安城学園は宇佐美の1対1からのドライブ、新潟商業は、内藤のハイポストからのシュートが決まる。

第4Qに入ると、新潟商業の2年生が元気のいい動きでチームを盛り立てる。田中の3P、内藤がリバウンドを頑張る。安城学園は八木がゴール下で踏ん張るも、その差は徐々に詰まり、82 - 82の同点となる。ノータイムから両チームにシュートチャンスはあったものの、決めるに至らず延長戦となった。

延長戦は、再び安城学園の八木がゴール下の強さを発揮。90 - 84とリードを広げる。しかし、ここから新潟商業は小林和がゴール下で驚異的な粘りを見せ、点差を縮める。89 - 90の場面で新潟商業の逆転シュートが決まったかに見えたが安城学園の好DefでOffのファウルとなりノーゴールとなる。最後は90 - 89のスコアでタイムアップ。安城学園は昨日に引き続く延長戦を、今度は勝利で飾った。両チームともよく頑張った好ゲームであった。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。